



軽井沢町のニホンザル対策

ニホンザルの豆知識

群れで生活し、ボスザル中心社会でもなく、母系グループの集まりで序列（順位）がある。

群れ構成：メス中心、オスは数頭

※メスは、基本、群れで生涯暮らしますが、若いオスは、群れから離脱し、単独生活（ハナレザル）をしながら新しい群れを探します。

木登りが上手 → 防除ネット、簡単に乗り越えて、侵入します。

学習能力が高い → 窓を開ける、魅力ある場所は記憶する（野鳥餌台、畑、実のなる庭木等）。

木の葉、実、草など雑食性、季節移動 → 別荘地周辺にも自然の食べ物が豊富

軽井沢町のニホンザル

軽井沢町では、軽井沢群（K群）の1群が生息しています。碓氷峠東側の群馬県境部で行動する碓氷群（U群）は、近年は確認されていません。

K群の頭数は、2000年初めには約100頭前後でしたが、対策の結果、現在は約25頭です。

K群の行動範囲は、国道18号線の北側、三笠、鶴溜、星野、中軽井沢、千ヶ滝西区、千ヶ滝中区など、別荘地エリアを中心に行動しています。旧軽井沢、離山、中軽井沢等の住宅地への出没は、現在は対策の成果により、激減しています。

町の対策

○個体数調整（頭数を減らす）

捕獲によるストレスから群れが分裂しないように注意を払いながら、環境省、長野県の許可のもと、慎重に捕獲します。

○追い払い（町から山へ）

2名1組2班体制で、6:30（町に出没しそうな時は5:00）から日没頃まで通年、町から山へ、家屋の多い場所から少ない場所へ追い払います。

○被害防除対策のアドバイス

家庭菜園、テラス糞尿被害など、住民からの通報対応、被害防除対策のアドバイスなど実施します。

○情報配信

群れの位置情報を毎日配信（午後5時10分）、町HPさるくまナビネット、携帯メール配信（登録制）、FM軽井沢モンキーレポートへの情報提供。

サルの被害

別荘地周辺での行動が多いため、TVアンテナなど器物破損、テラス内の糞尿、家庭菜園、タマネギなど屋外保管の食料、庭のユリ、チューリップ等の被害以外に、窓を開けて家屋内に侵入する被害が報告されています。

とくに、町への苦情として、庭からサルを追い払って欲しい等の「追い払い依頼」が多く占めています。町中には、家庭菜園、野鳥の餌台、屋外保管の野菜など、サルにとって魅力あるものが多数あります。

みなさんへのお願い

●食べ物を決して与えないで下さい

食べ物を与えると、周辺から離れない、頻繁に来るようになるなど、行動が変わります。栄養状態も良くなり、頭数の増加にもつながります。

●窓、扉の戸締りを忘れずに！ 施錠をきちんと

窓や扉を開けて、家屋内に侵入し、食べ物を奪うことがあります。窓の外から見える場所に食べ物を置かない、その場から離れる際には必ず施錠するなど、戸締りを心掛けてください。網戸では開けることがありますので、ご注意ください。

●引き寄せないこと

○野菜など食べ物を屋外に置かない

庭、テラス等、屋外に食べ物を置くと、サルや匂いに敏感な野生動物に嗅ぎ当てられて食べられてしまいます。屋内で保管してください。

○野鳥の餌台に注意、サルを見かけたら直ちに片付けましょう

野鳥の餌台をみつけると、サルなど、野鳥以外の動物が頻繁に通うようになります。付近でサルを見かけたら、直ちに餌を片づける、その日の野鳥がたべる分量だけを置くなどの配慮をお願いします。

○家庭菜園は、サル等、野生動物に採られない工夫を(防除しましょう)

美味しい野菜は、常にサル等の野生動物に狙われています。早めに収穫するか、電気柵等で防除してください。園芸用の杭に防除ネットを被せるだけでもある程度有効です。対策方法など、町に相談ください。

○庭木の選別に注意

庭木の選別次第では、サルが立ち寄りやすくなることもあります。クワ、サクラ、ヤマボウシ、クリ等の実のなる木や、ユリ、チューリップの球根などは、サルの大好物です。早めに収穫する、「ネットで囲う」など、工夫をお願いします。